

今月は注目のイタリア車特集! 本国仕様輸入車の第二特集も見逃すな

ティポ 11月号 第22巻第1号
平成23年11月1日発行 毎月1回1日
平成3年4月2日 第3種郵便物

2011年 **11**月号 定価 **660円**
No.269
カー・マガジン ティーポ

Tipoo

Dramatic Car-magazine



アレもコレも 全部食べたい!

美味しいイタリアン!

かわいいフィアット・パンダから憧れのフェラーリ458スパイダーまで、注目のニューモデルが続々と登場し、ますます目が離せないイタリアの魅力。魅力的なチューコ車やチューニングカー、ヒストリックカーなどの情報も大盛りだくさんにして、さあ、美味しいイタリアンをお腹いっぱい召し上がれ!

主な内容 ●注目のニューモデルが続々! ニューパンダ徹底解説 ●予算100万円でおもしろめイタリアンチューコ車 ●サーキットで楽しむチューンドイタリア車 ●知ってるようで意外と知らない! 数字のフィアット大図鑑 ●エコだって最先端! 日伊燃費対決! ●見ても触れても楽しめる! イタリア車のイベントレポート



Dramatic Scene
CATERHAM7 SUPERLIGHT R200



Purchase Project
CITROËN BX



太田哲也流ドライビング術で、クルマがもっと楽しくなる!!

慣れる前に習う。そこから始まるエンジョイ&セーフティ

Tetsuya Ota ENJOY&SAFETY DRIVING LESSON supported by出光

太田哲也さんによる徹底したドライビング理論解説とサーキット走行とを同時に体験できることで非常に人気の高いイベント『エンジョイ&セーフティドライビングレッスン』。今年で3回目となる同イベントが、筑波サーキット・コース1000にて開催。今回はゲスト講師として2011年鈴鹿8時間耐久ロードレースを制した2輪ライダーの伊藤真一選手も参加。クルマと人を通じ日本中に元気の輪を広げている太田哲也さんの活動をお伝えする。

主催：太田哲也スポーツドライビングスクール
http://www.sportsdriving.jp
協力：出光、フィアット・グループ・オートモービルズ・ジャパン、三菱ふそう、BOSCH、ブリヂストン、Digi-Tec JAPAN
文&撮影：日岐まほろ



今回の教習車は、アバルト695トリブート・フェラーリとアルファ・ロメオMiTo tctの2台。太田・伊藤両ドライバーによる同乗体験走行の機会は参加者全員に用意された。

レーシングドライバー太田哲也さん直伝の運転技術を学べるプライベート・ドライビングレッスン『エンジョイ&セーフティドライビングレッスン』が9月4日、筑波サーキットコース1000を舞台に開催された。

同レッスンは、サーキット走行の基礎などを太田さんが丁寧に指導する『座学』に、参加者自らが愛車のステアリングを握るフリー走行などの『実技』を加えたプログラム。そこにはサーキットをより速く走るためのテクニックとともに、安全運転に直結する様々なスキルが散りばめられている。

3回目となった今回のエンジョイ&セーフティドライビングレッスンには、太田さんに加え、特別講師として現役バイクレーサーの伊藤真一選手が参加。毎回定員オーバーとなるほど好評のこのレッスんだが、今回も募集定員を超える37名のドライバーが参加。相変わらずの人気ぶりを伺わせてくれた。

午前中、約1時間あまりの時間をかけた座学は、太田さんによる次のような挨拶から始まった。

「皆さん、モータースポーツの世界へようこそ。一番最初に皆さんに僕のモーター



約1時間にわたり、みっちり行なわれた座学。ドライビングポジションやステアリング握り方といった基礎の基礎から、ブレーキングの極意やコーナーの攻め方まで丁寧な指導が行なわれた。





初開催！ スーパータイムアタックGP

今回初の試みとして「スーパータイムアタックグランプリ」を開催。実技後の時間を利用して企画された愛車を用いたタイムアタックイベントだ。1周限りのアタックラップに挑戦者全員が集中！ 全員に出光とBOSCH提供による参加賞がプレゼントされた。



それは「慣れる前に習え。そして考えよ」ということです」
太田さんはこの挨拶に続く形で、ステアリングの握り方、ドライビングポジション、荷重移動の基礎、コーナリングでのブレーキの使い方、コーナーの形状別によるブレーキングポイント、クリッピングポイント、理想の走行ラインなどを理論的に解説。「速く走りたい、だからブレーキをもっと我慢すればいい」ではなくて、まずは頭で理論を理解した上で実際に試してみる。これでクラッシュなどのアクシデントを予防し、ラップタイムを伸ばして行くことができるんです」
特別ゲストの伊藤真一選手は、見事優勝を果たした今年の鈴鹿8耐のエピソード



東日本大震災支援チーム KEEP ON RACING

東日本大震災に対し精力的に被災地に赴き支援活動を行なっている太田哲也さん。写真上は支援物資の運搬に活躍した三菱ふそうのキャンター。出光興産は太田さんの活動を全面的に支援。



太田哲也さんに加え、2011年鈴鹿8耐耐久ロードレースのウィナーである伊藤真一選手が特別講師として参加！

特別講師に2輪ライダーの伊藤真一選手も参加

宮城県出身の伊藤選手。「被災地は落ち着きを取り戻しつつありますが町ごと津波に飲み込まれ更地になってしまったようなところもまだあちこちにある状態です」と現状を伝えてくれた。



宮城県出身の伊藤選手。「被災地は落ち着きを取り戻しつつありますが町ごと津波に飲み込まれ更地になってしまったようなところもまだあちこちにある状態です」と現状を伝えてくれた。

太田さんは「皆さんがモータースポーツのものでひとつになれたことが素晴らしい。クルマを使って何とか日本を元気に盛り上げたい。このドライビングレッスンはまた続けて行きたいと思っています」と語り、またいづれ東北でのドライビングレッスンを開催できればとも話してくれた。太田流のドライビング術が東北の大地を元気に盛り上げる日も近い。

午後に行われたフリー走行では、参加者各自が座学で得た理論を生かし、次々とラップタイムを更新。また太田・伊藤の両ドライバーによる同乗走行でも、タイムアップのヒントを得られたという声が多く聞かれた。
太田さんは「ここ数年、クルマの楽しさや安全運転の大切さを伝えるとともに、次世代のクルマ社会を支える人づくり」を目指し、全国の小中学校などへの出張授業やラジオ番組への出演、さらにウェブサイトでコラム寄稿など様々な活動を行なっている。このドライビングレッスンはそうした活動の一貫。活動の主旨に賛同した出光興産をはじめ、毎回各自動車メーカーがサポートしている。太田さんは今年3月の東日本大震災直後から被災地支援活動を優先し一時このドライビングレッスンを中断していたが、新たに「クルマが日本を元気にする」のテーマに掲げ6月に再開。

ドを披露してくれた。また、「太田さん同様に僕も理論派。ほかの誰よりも速く走るためには、知識がなかった」とも語ってくれた。
最後は参加者全員でTUBEによる震災チャリティーソング「RESTART」を熱唱。このチャリティー活動に太田さんも参加している。



太田哲也が語るWebサイト「DRIVING イズム」安全で充実したカーライフのサポートがコンセプト <http://www.drivingism.com/> 太田哲也さんと出光興産とのコラボレーションによるウェブサイト「ドライビングイズム」では、太田さんによるドライバー向けコラムが好評連載中！

前田 啓行さん アルファ・ロメオ 147TS
TEZZOのレッスン参加は2回目です。太田さんの講座はわかりやすく勉強になります。理論の理解は上達の速さに繋がると思うのでこれからも参加したいと思います。



佐藤 亜貴子さん アルファ・ロメオ MiTo QV
同乗走行ではターボ車の特性に合わせたアクセル操作などMiToの運転の仕方を教えていただけ楽しかったです。座学の内容は普段の運転にも生かせるものだと思います。



石橋 賢一さん ロードスター RS
以前一度参加して楽しく、勉強にもなったのでまた参加しました。座学ではモータースポーツの裏話なども聞け貴重な体験でした。同乗では伊藤選手の走りに感激しました！



松岡 秀樹さん ルノー ルーテシアRS
これまでは大きめのファミリーカーを所有していました。子供が独立したこともあってスポーティなクルマに買い替えたのを機に、このレッスンに参加しました。



岩崎 俊裕さん アルファ・ロメオ 156GTA
太田さんと伊藤さんにお会いしたかったこと、また同じアルファ・オーナーの皆さんと話をしてみたくて参加しました。本で読んだドライビングの知識が体に伝わりました！



坪井 嘉宣さん アルファ・ロメオ 147
座学ではテクニカルな筑波1000の走り方を学ぶことができ、また伊藤選手の同乗走行では、クルマの挙動からサーキットの走行ラインまで正しい走り方を体感できました。



タイムスケジュールはこんな感じ

12:30~13:00
15:10~15:25

TEZZOデモ走行／模擬レース



抽選で選ばれた参加者たちのドライビングスキルは千差万別なので、まず、TEZZO RACERS CLUBの面々と太田氏はカルガモ走行のデモを行った。参加者たちは、その模様を凝視。

カルガモ走行では、太田氏がドライブするMiToの直後につく車両が入り代わる必要があるため、ストレート部分で先頭のドライバーが隊列を外れる方法などが実際に披露された。修了式の前にTEZZO模擬レースが実施され、TEZZO RACERS CLUBの面々が熱いバトルを展開。



09:30~11:25

座学



摩擦円は、縦軸が加速／減速、横軸が摩擦の増減を表している。加速／減速方向の動きが急激過ぎると、路面との間に生じる摩擦（グリップ）が減る（最悪ゼロになる）わけだ。

荷重移動に関することも図を使って丁寧に説明された。こちらでは、ブレーキング時とアクセルオフ時が前荷重、加速時が後荷重となる、というのがセオリーだ。なお、座学の前に参加者による自己紹介やスタッフの挨拶などがあった。参加者たちの真剣な表情が印象的だった。



14:00~15:00

フリー走行／同乗走行



走り始めた当初は緊張していた参加者たちも、時間が経つにつれ、コースに慣れ、最終的には全ドライバーが座学で学んだことの本質を理解してエンジョイドライビングを実践!

参加者たちは、A、B、Cという3組に分かれてフリー走行を実施した。そのため、自分の順番ではないタイミングでは、太田氏がドライブするクルマへの同乗走行を楽しめた。当日は酷暑だったため、フリー走行後はクルマも参加者も、しばらくの間、クールダウンした。



13:00~13:45

カルガモ走行



カルガモ走行の目的は、太田氏の真後ろを走ってベストラインを覚えることだ。ここでベストラインをしっかりとレースできた参加者は、フリー走行でも素晴らしい走りを見せた。

過去にサーキットを走った経験がある一部の参加者は、太田氏がステアリングを握るMiToの背後を見事に走り続けた。太田氏が参加者のドライビングスキルをミラーで確認し、スピードを調整してくれたが、やはり、コーナーを抜ける際は少し間隔がひらき気味だった。



参加した皆さんの感想をご報告



漆戸あゆみさん

この手のスクールに初めて参加したという漆戸さんの愛機は、新車で購入したという01年式のブジョー106ラリー。走行17万kmの個体だが各コーナーで軽快な走りを披露していた。



五十嵐正栄さん

「ずっとエッセイ等を拝見していた太田さんが運転するクルマに同乗できたりして、楽しい一日を過ごせました。コーナーの奥までブレーキを残す走り方は参考になりました。」



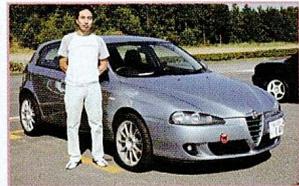
長谷川多美子さん

「理論を知り、走りをイメージし、身体で感じるが必要で、このバランスが大切なのだとわかりました。」今後もドライビングを楽しみたいそうだ。次回は、ご主人が参加?



Tさん

「ドライバーを生業にしていますが、スポーツドライビングは今回が初めて。最初は怖かったのですが、習った理論をイメージし、何周かしているうちに楽しさが増えました。」



明石亭さん

「座学により理論を学び、実際の走行により、それを実践することができ、とても充実感の高い講習内容でした。そして、何より、楽しい時間を過ごすことができました。感謝です。」



若泉孝さん

「フリー走行時に荷重移動で挙動を変えることを意識してやってみました。自身のスキルでは終始アンダーでした。同乗走行時に同じFF車でこんなに曲がるのかとビックリ!」

走りのシナリオを頭の中で描き、摩擦円および荷重移動の理論に基づいて愛車の特性を任意に変えて走る重要さを学んだ参加者たちには、フィアットグループ オートモービلز ジャパン提供のアルファ・ロメオ100周年記念レジャーシート、出光興産提供のキャッシュプリカ、太田氏が執筆した「生き方ナビ」(サイン入り)等が進呈された。